

所属 健康医療科学部		職名 教授	氏名 川嶋 英嗣	学位 博士（心身障害学）	兼担している研究科 心理医療科学研究科
研究分野 人間医工学およびその関連分野、心理学およびその 関連分野、教育学およびその関連分野			研究分野のキーワード ロービジョンケア、視覚心理学、視覚障害、知覚、ユニバーサルデザイン		
学歴					
1994年03月	筑波大学第二学群人間学類心身障害学専攻				
2000年03月	筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科心身障害学専攻				
職歴					
2000年04月	日本学術振興会特別研究員（PD）				
2002年04月	長寿科学振興財団リサーチレジデント				
2004年04月	愛知淑徳大学医療福祉学部講師				
2005年04月	愛知淑徳大学医療福祉学部助教授				
2010年04月	愛知淑徳大学健康医療科学部准教授				
2013年04月	愛知淑徳大学健康医療科学部教授				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等 の名称	単著・共著 の別	発行または 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
図説視覚の事典	分担執筆	2022年11月	朝倉書店	日本視覚学会（編）	260頁～263頁
視能学エキスパート ロービジョンケア	分担執筆	2024年03月	医学書院	新井千賀子・田中恵津子・阿曽沼早 苗・石井祐子（編）	12頁～20頁, 98頁～102頁
学術論文					
文字の平体化が読みに及ぼす影響	共著	2022年09月	視覚障害リハビリテーション 協会 視覚リハビリテーション研究 11 2	高木琉亜・川嶋英嗣	29頁～32頁
Mars Letter Contrast Sensitivity Test で測定されるコントラスト感度に及 ぼす検査距離の影響	共著	2025年11月	メディカル葵出版 あたらしい眼科 42 11	東本美於・川嶋英嗣	1454頁～1458頁
Berkeley Rudimentary Vision Testに おける視標の違いが方位識別能に及 ぼす影響	共著	2026年03月	視覚障害リハビリテーション 協会 視覚リハビリテーション研究 14	松下美早希・川嶋英嗣	26頁～30頁
学会発表					
平仮名視標を用いたコントラスト感 度測定	単独発表	2021年05月	第22回日本ロービジョン学 会学術総会(WEB開催)		
遮光手段が視力に及ぼす影響	共同発表	2024年05月	第25回日本ロービジョン学 会学術総会(埼玉県さいたま 市・埼玉会館)		
iPad 版 MNREAD による低輝度下での読書評価	共同発表	2024年09月	第32回視覚障害リハビリテ ーション研究発表大会(日本 教育会館)		
Mars test でのコントラスト感度測定 に及ぼす視標サイズの影響	共同発表	2024年09月	第32回視覚障害リハビリテ ーション研究発表大会(日本 教育会館)		
文字サイズとディスプレイサイズが 読書速度に及ぼす影響	共同発表	2024年09月	第32回視覚障害リハビリテ ーション研究発表大会(日本 教育会館)		
計算アルゴリズムの違いが MNREAD- J の読書パラメータに及ぼす影響	共同発表	2024年09月	第32回視覚障害リハビリテ ーション研究発表大会(日本 教育会館)		
超低視力下での視力検査における明 るさ環境が及ぼす影響	共同発表	2024年09月	第32回視覚障害リハビリテ ーション研究発表大会(日本 教育会館)		
MNREAD-J における読書パラメータ 推定法の比較：視覚的推定と計算ア	共同発表	2025年08月	第33回視覚障害リハビリテ ーション研究発表大会(日本		

ルゴリズム			教育会館)		
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
1994年04月～現在	視覚障害リハビリテーション協会		2010年04月～2014年03月 理事		
1994年04月～現在	日本視覚学会				
1994年11月～現在	Association for Research in Vision and Ophthalmology				
1995年05月～現在	日本特殊教育学会				
1998年03月～現在	日本認知科学会				
1999年10月～現在	日本ロービジョン学会				
2001年03月～現在	日本心理学会				
2002年09月～現在	International Society for Low Vision Research and Rehabilitation				
社会活動					
2003年07月12日～現在	特定非営利活動法人 Tokyo Lighthouseにおいて視覚障害者に対するリハビリテーションサービスを提供する活動組織を支える運営を行っている				
2016年04月01日～2027年03月31日	科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号：16K01582 研究分担者 羞明感と色覚特性に着目した遮光眼鏡選択指標の汎用性及び実用性に関する研究				
教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日		概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					
(1) 実体験をともなう実習の活用			2004年04月01日～現在		受講者150人の講義で簡単な材料を使った実験を実体験させることで、講義だけでは理解できない内容の理解を促進する試みを行った。
(2) レポート添削による講義内容理解の即せ印			2005年04月01日～現在		学生が執筆した実験レポートを教員が添削してフィードバックすることで、知識の構造化を促進させ、分析能力や論理展開力を習得させる。
(3) 実験装置作成の体験			2005年04月01日～現在		実験実習では既製の装置を使わずに、受講者自らが装置を作成することで実験の目的と内容の理解を深める。
2 作成した教科書、教材、参考書					
(1) 分析シートの作成			2004年04月01日～現在		等照度曲線の作成では膨大な数の数字を扱うが、これをコンピューター等を使わずに手書きで数値を記入し、グラフを作成するシートを作成し、活用した。
(2) 視覚障害をシュミレートした画像の活用			2005年04月01日～現在		眼に障害のある人の見え方をシュミレートした画像を見せることで、記述だけではわからない面を直感的に理解させるのに役立っている。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
愛知淑徳大学健康医療科学部教務委員			2010年04月～現在		視覚科学専攻の教務委員として、カリキュラム編成、時間割作成など教務一般に関する業務に従事
5 大学運営					
Ⅴ 資格・免許、特許等					
資格・免許					

特許等		